

2009年9月号
Vol. 7

発行者／財団法人千葉県文化振興財団 理事長 須藤 敏行
〒260-8661 千葉市中央区市場町11番2号 TEL 043-222-0077 FAX 043-221-6438
E-Mail info@cbs.or.jp ホームページ http://www.cbs.or.jp/

インターネットでお座席が選べます！ お支払いはコンビニで。

チケットの購入がちょっと楽しくなる、新しいチケット予約システムをご紹介します。5月より従来の電話予約の他、インターネットでのご予約ではお客様ご自身で画面上からお席をお選び頂けるように。また、コンビニエンスストアでのお支払いも可能になりました。



① ご利用は財団ホームページから

財団ホームページのトップページにある「チケット購入と空席確認はこちら（オレンジ色のバナー）」をクリック！現在ホームページ上でお求め頂くことの出来る公演一覧と空席情報を24時間ご覧頂けます。

② 利用登録とご購入

お座席の購入が決まりましたら利用登録をお願いします。一度登録をすると次回からメールアドレスとパスワードでログインが可能です。ログイン後、ご希望の公演を選んで座席表上よりお座席を選択してください。自由席の場合は数量指定でお求め頂けます。買い物かごの中身を確認の後、お支払い方法（会館窓口もしくはコンビニエンスストア）を選択してください。



③ 代金のお支払いとチケットのお受け取り

会館窓口でのお支払を選択された方は、千葉・青葉・東総いずれの会館でも代金のお支払いとチケットのお受け取りが可能です。コンビニエンスストアでのお支払いを選択された方には、数日中に専用の支払用紙をお送りします。チケットはお支払いの後、ご自宅へ郵送いたします。

県内のホールでいつ何が観られるかな？～イベントカレンダーのご利用を～

「来週末に知人が遊びに来ることになって。その日に県内で見られる公演はありますか？」そんなお問い合わせをお電話で頂くことがあります。財団では9月より「急に予定が空いたので、折角なら何か舞台を見たい！」など、思い立った時にすぐ、県内のどこでいつ、どんな公演を観られるのかが一目で分かる「イベントカレンダー」の運用を開始します。財団の主催・共催事業はもちろん、県内主要ホールの催物をここでチェック！

ご利用は同じく財団ホームページのトップページから！「お気に入り」に登録してぜひご活用ください。



◆◆◆ 個性豊かな「プロの巧み」に酔いしれる ◆◆◆

千葉市出身で初の真打！

古今亭 菊輔氏

古今亭菊輔さんは千葉市緑区誉田町出身。子供の頃から落語に興味を持ち、県立成東高校在学中に所属した落語研究会では部長を務めていたそうです。その高校時代に会った古今亭円菊師匠に卒業と同時に入門。平成7年に千葉市出身では初の真打に昇進。落語の面白さを生で味わってもらうため、全国365ヶ所での開催を目指している「吉例 菊輔落語會」。江戸時代の長屋暮らしの智慧を元に、先の見えない今の時代を楽しく生きるためのヒントを探ります。

菊輔さんの長屋噺は一度聞いたらクセになること間違いなしです！



古今亭菊輔独演会「吉例 菊輔落語會」10月3日(土) 14:00 千葉県東総文化会館 小ホール

新たな試みで

伝統芸能の普及・継承を目指す

小笠原 匡氏・宝生 和英氏



小笠原 匡氏 宝生 和英氏

千葉県に伝わる民話や行事を題材に、県民参加型の狂言を創作する「房総発見伝 in 狂言」。その監修をしている小笠原匡さんは、能楽・文楽・和太鼓等、日本の伝統芸能の本質を重んじながら、それらを融合させた舞台を制作するなど、新たな表現の創造を目指しています。

また、「青葉能」で今回「忠信」を演じる宝生流宗家の若きプリンス・宝生和英さんは、ジャンルを超えたアーティストとの競作などを通じ、今の時代に息づく「能」を私達が体感出来るよう、さまざまな試みを実施しています。

明日の日本の伝統芸能を担うお二方の熱演をどうぞお見逃しなく。

房総発見伝 in 狂言「オトタチバナヒメ」12月5日(土)14:00／青葉能公演「能：忠信」「狂言：佐渡狐」12月6日(日)13:30 青葉の森公園芸術文化ホール

あさたろうの原点は

思う存分遊んだ山間での子供時代

飯野和好氏

TVアニメでも放映中の「ねぎぼうずのあさたろう」で知られる絵本作家、飯野和好さんは1947年、埼玉県秩父市生まれ。「こどもの頃から絵を描くのが好きで、空想をめぐらしては、学校から帰るとマンガや映画の主人公などを、わらばん紙によく描いていた。探偵ごっこ、かくれ家ごっこ、ちゃんばらごっこ、ソリに丸太を切った車輪をつけてゴーカートみたいにして、山道をガラガラ走り下ったり。思う存分遊んだ山間の暮しが今に生きている。」<飯野和好 記>

今回の公演ではご本人が自ら、三度笠の旅姿で楽しく読み語りをします。



おっと痛快 絵本の読み語りの旅でい！ちばぶん宿 ～ねぎぼうずのあさたろう～ 12月12日(土)13:30 千葉県文化会館 小ホール

----- お問い合わせ・チケットのお申込は -----

千葉県文化会館 043-222-0201 千葉県東総文化会館 0479-64-2001 青葉の森公園芸術文化ホール 043-266-3511
インターネットでもお求め頂けます。http://www.cbs.or.jp/



房総に息づく手づくりの技 ～千葉県指定伝統的工芸品展～

青葉の森公園芸術文化ホールでは、「千葉県指定伝統的工芸品展」を2階ロビーで開催。千葉県では、伝統的工芸品産業のより一層の発展を図るため、昭和59年度より優れた工芸品を伝統的工芸品として指定しています。(平成21年度現在で168件)

青葉では平成12年度から78名の方々の作品を展示してきました。作品は、千葉県で初の伝統的工芸品にも指定された房州うちわをはじめ、織物、染色品、人形、郷土玩具、和楽器など多岐にわたります。

青葉の森公園にお越しの際は、紅く色づく木々の間を通り、ふるさと千葉に息づく伝統的工芸品を見に是非お立ち寄りください。

<今後の展示予定>

9月10日(木)～11月23日(月・祝)

萬祝長着／鈴木栄二(鴨川市) 佐原ラフィア／石井莊道(香取市)

とんぼ玉／森谷 糸(千葉市)

※ 内容については都合により変更する場合がございます。

編集後記

戻り梅雨に毎日の雷雨に台風。今年の夏はとて短く感じました。秋の爽りも少し心配です。

さて、今回の財団News、いかがでしたでしょうか。大きく変わったチケットの予約システム、これ本当に楽しいです！自分で座席を選べると思議なことに、選んだ座席に対する愛着が増す気がします。

実際に来館された際にはぜひ、開演前や休憩中の空き時間を利用して、「見やすいな」と思うお席をチェックしてみてください。次回チケットをご購入の際の参考になることと思います。もちろん、迷った時やインターネットの環境にない場合はお電話頂ければ、残券の中から最良のお席をご用意いたします。財団 News 次回の発行は1月中旬の予定です。